協会行事予定

1月6日～1月16日

1月6日（火）
公害環境対策部会19時。

1月7日（水）
地域医療対策部会19時30分。

1月8日（木）
労務管理基礎講座14時。
歯科臨床研究会19時。

1月9日（金）
新聞部会19時30分。保険診療対策部会20時。相模原支部幹事会20時。

1月13日（火）
湘南支部幹事会19時30分。

1月14日（水）
共済セミナー19時30分。学術部会19時30分。県央支部幹事会20時。

1月15日（木）
労務管理基礎講座14時。
歯科保険診療対策部会19時。共済部会19時30分。

1月16日（金）
新聞編集会議19時。

保険点数Q&A

【医科】

（Q）小児科における年末年始の点数の取り扱いを教えてください。

（A）本来、休日加算は日曜日・祝日・12月29日～1月3日であって、休診日もしくは診療日の診療時間外にしか算定できません（救急診療所や救急医療対策事業の一環として位置づけられた医療機関等を除く）。ただし、小児科を標榜する医療機関が6歳未満の乳幼児を診察した際は、小児科特例により診療時間内にも休日加算が算定できます（深夜を除く）。具体的な点数は、出来高算定の場合は初診時365点・再診時260点、小児科外来診療料や小児かかりつけ診療料を算定する場合は初診時250点・再診時190点となります。なお6歳以上の患者を診察した際は、診療時間外には休日加算等を算定できますが、時間内は算定できません。ただ施設基準（1週あたりの診療時間が30時間以上）を満たす診療所では、診療時間内に夜間・早朝等加算50点を算定できます。

【歯科】

（Q）エナメル質初期う蝕（Ce）病名で、エナメル質初期う蝕管理料（Ce管）とフッ化物歯面塗布処置（F局）を算定する場合、年齢制限は設けられていますか。

（A）設けられていません。要件を満たせば、小児でも高齢者でも年齢関係なく算定していただけます。

訃報

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

㊫荻野　貞雄氏（川崎市川崎区）

11月15日、ご逝去されました。享年65歳。

ランニング同好会

雨のハーフマラソンを105分で完走

多摩川リレーマラソン

ランニング同好会は11月9日、秋の練習会として位置づけた多摩川リレーマラソンに木村会長と濱名理事の2名と事務局2名で参加した。当日は気温も低く、あいにくの雨模様であったものの、スタート時刻には雨脚も弱まり、ランナーにとっては走りやすい状況となった。順番を待つメンバーも近隣のランニングステーションで暖を取りながら待機。1周1・3㎞あまりを計16周するレースでは、ハーフマラソンの距離を1時間45分で走破し、出場全チーム中8位の成績を収めた。

中央：木村会長、右側：濱名理事

参加記

スピード維持 大作戦発令！

厚木市　木村　聡

今回の駅伝、前半は私と濱名先生が一周1・3㎞の周回コースを一周ずつ交互に走り、1人5周、二人で合計10周です。後半の6周は事務局の園田さんと勝亦さんが3周ずつ通しで走るというオーダーで臨みました。前回4月のこの大会では、〝ある作戦〟で順位はほぼ中位に入りました。その作戦とは1人一周で交代し、疲労によるスピード低下を防ぐ作戦です。それらにより、その前の大会の順位より飛躍的に上がりました。さて、今回の天気は雨で少し肌寒い天候です。私は第一走者としてスタートを切りました。他チームの第一走者は結構それなりの選手が配置されているようでした。この一周目での結果は後々まで響く可能性があるので一周目から全力疾走です。一周目のゴール時、何とか私より後ろに人がいました。キロ4分台で走ったわけですが、これで一杯いっぱい。ここで即、濱名先生にタッチ交代。二人の「走る」、「交代」そして暫しの「レスト」、「走る」の繰り返し劇は10周まで続きます。他チームの複数人での交代のある中、我々二人でハーフ距離の中の13㎞を戦い、これで勝つことは非常に難しいと感じました。しかし私と濱名先生は互いに「ダッシュ！」、「ラスト！」と声を掛け合いながら阿吽の呼吸で最後まで走り続けました。

さぁ、残り8㎞は園田さん、勝亦さんと続きます。こちらは一周ずつの交代であればキロ3分台の速さも可能でしたが、敢えて一人3周連続で走ることとしました。二人ともキロ4分台前半で完走しました。このように今回のリレーマラソンは前回のマラソンの順位を上げる作戦というより、駅伝の中で、つまり、ある一定のスピードの中、距離を踏むという非常に効率的な練習を成し得たと思います。単にスピード競争のみの駅伝大会が多い中、今回のように速さの尺度のみならずランニング同好会にとって良きトレーニングができた大会となり、心地良い達成感の中、幕は閉じました。

医科・今月の査定、返戻相談事例

超音波検査等の一部生体検査時外来管理加算の算定は

協会では日頃から会員の医療機関より、県支払基金や県国保連合会からの査定（減点）内容に関する相談に対応している。以下が今月の主な相談事例であり、次月のレセプト請求時にはご確認いただきたい。なお、納得できない査定内容については積極的に再審査請求をお願いしたい。

◇

（Q）他院に入院中の患者が当院の外来に受診した際に、院内処方を行い薬剤に関する情報を文書で交付したため、一緒に薬剤情報提供料を算定したところ査定された。

（A）入院中の患者の他医療機関受診の際には、診療情報提供料（I）を除く医学管理の算定は認められないため。

（Q）かかりつけの患者に対し再診と処方を行い、次回来院時にエコーを行うための予約を行った際に、再診料＋外来管理加算＋処方箋料を算定し、後日超音波検査のみ算定したところ、外来管理加算がD項※査定された。

（A）超音波検査等一部の生体検査等を行った際は、外来管理加算は算定できない。今回の事例では、外来管理加算を算定した日の診察から超音波検査の必要性を判断しているため、一連の診療とみられ、診療の際に算定した外来管理加算が査定されたのだろう。

（Q）月の途中で他院から患者を引き継ぎ、訪問診療を始めたところ、同じ月に他院でも訪問診療料が算定されていると返戻された。

（A）在宅患者訪問診療料（I）の1は主に在宅を担う1医療機関で算定することとなっているため、2医療機関で算定されていることに疑義が生じ返戻されたものと考えられる。月途中で主に在宅を担う医療機関が変更されたのであれば、その旨の詳記をつけて再請求を行う。

※査定事由
D：告示・通知の算定要件に合致していないと認められるもの

※協会に査定（減点）内容に関するご相談をする際には、増減点連絡書をお手元にご用意の上、ご連絡ください。

アジ釣り大会

悪天候の中、果敢にチャレンジ

文化部は11月9日、逗子市小坪港「椿丸」の2艘で「アジ釣り大会」を開催し22名が参加した。当日は小雨が降る悪天候の中、各参加者が果敢にアジ釣りに挑戦。本命アジの釣果が伸びず、厳しい一日となったが、アマダイやサバなども多く釣れ釣果はまずまず。初心者や親子連れの参加も多く、終始和やかに釣りを楽しんだ。トップ賞は35センチのアジを見事釣り上げた、まごころ歯科の高橋誠史先生が獲得。参加者からは「初めての船釣りでとても楽しかった」、「今度はアジを釣りたい」などの声が寄せられた。以下、参加者から感想が届いたので掲載する。

参加記

雨にも負けず、息子と久々の釣りを満喫

横須賀市　高橋　誠史

久しぶりの船釣りに小6の息子とワクワクしながら1週間前から準備。しかし、当日は生憎朝から雨模様。しかも結構強め…。皆、合羽を着て臨戦態勢で臨むが、中々ヒットしない。こりゃ駄目かなと思っていたら、雨が少しずつ弱まり、それに伴い船の後ろ側あたりから、あたりがぽつぽつと出始めた。

自分と息子は船のみよし（船の先端）だったためか、なかなかあたりが来ず焦っていると反対側のみよしからもあたり始め、息子を鼓舞したらイトヨリダイをゲット！坊主にならず、ホッとしました。その後、息子は好調でハナダイ、ホウボウ、サバ、オニカサゴを釣り、ゾーンに入ったとご満悦。しかし、アジ釣りの予定が船中肝心のアジが来ず、外道ばかりの中、自分はイトヨリダイ、サバ、アジ（35センチ、船中1枚）を釣ることができ大満足！船宿の方も優しく教えて下さり、魚も捌いて美味しくいただきました。とても楽しい釣りになりました！また参加したいと思います。

訂正とお詫び

保険医新聞12月15号3・4面政策部長談話「診療所（個人立）も経営悪化顕著／実質6割は赤字…」の〈参考〉中の表タイトルに誤りがありましたので訂正いたします。◆診療所（個人）の3割は損益率が赤字、損益差額が勤務医給与水準以下は7割弱」とありますが、正しくは「5・6％は損益差額」、「4割弱」です。お詫び申し上げます。